

GeoCoach3D バージョン 8.0.0 更新記録

2014/07/10
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. Windows8,1、Java8 対応

インストーラが Windows8 に対応しました。インストーラの名前は

GeoCoach3D-DM-P-8-*-*-setup.exe (*は数値)

となります。

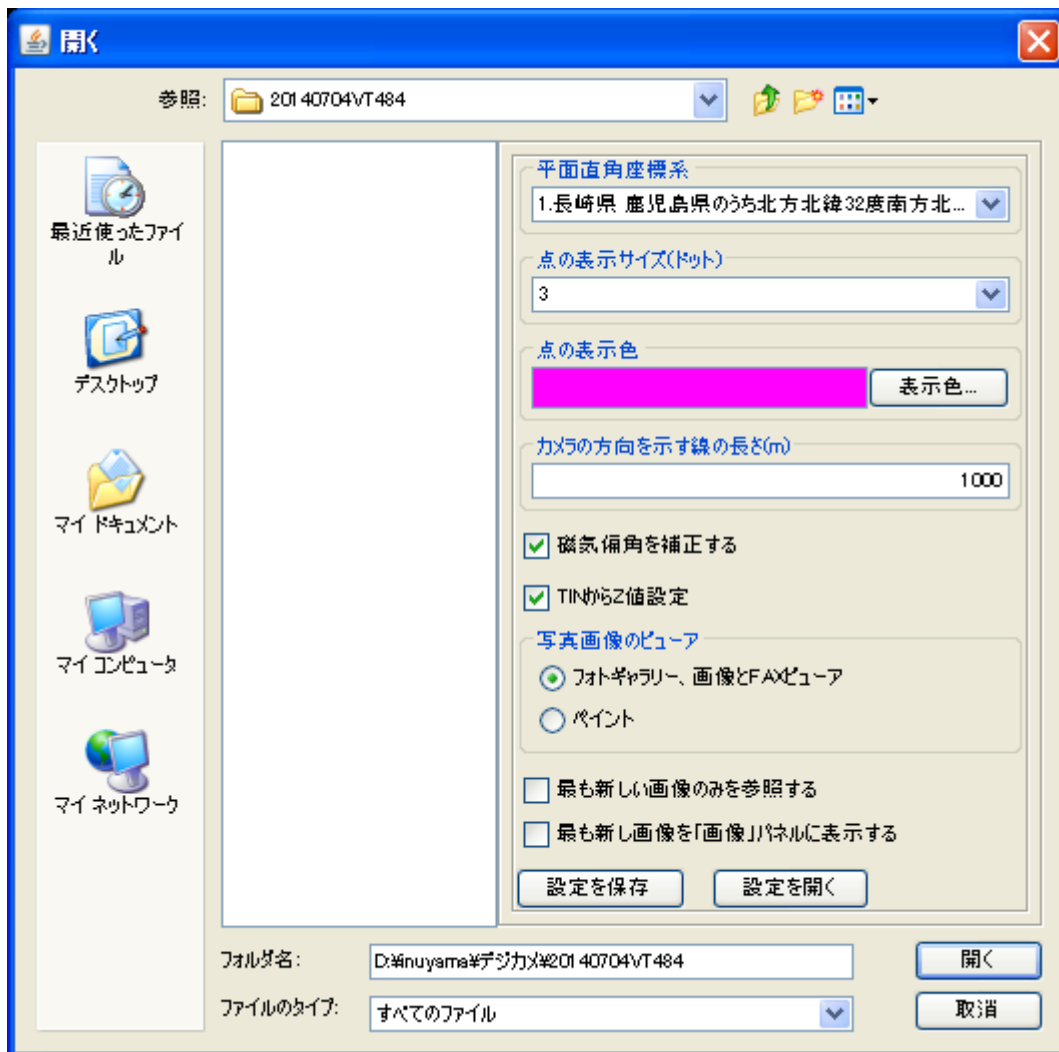
インストーラを作成するソフトウェアを変更したので、インストールには数分かかる場合があります。インストール説明書も更新しました。

<http://www.geocoach.co.jp/download/GeoCoach3D-series-8-install.pdf>

また、Java のバージョン 8(あるいは 1.8)でも動くようにしました。

2. メニュー「開く 写真Exif」

「ファイル」メニューに「開く 写真 Exif」を追加しました。



指定したフォルダ内の JPEG ファイルを参照し、緯度経度の情報があれば、撮影位置を「3D 表示」パネルに表示しま

す。

また、ウィンドウ右側に「画像」パネルを追加しました。「開く 写真 Exif」で表示している点を選択すると、該当する画像を表示します。



詳しくは次の説明書を見てください。

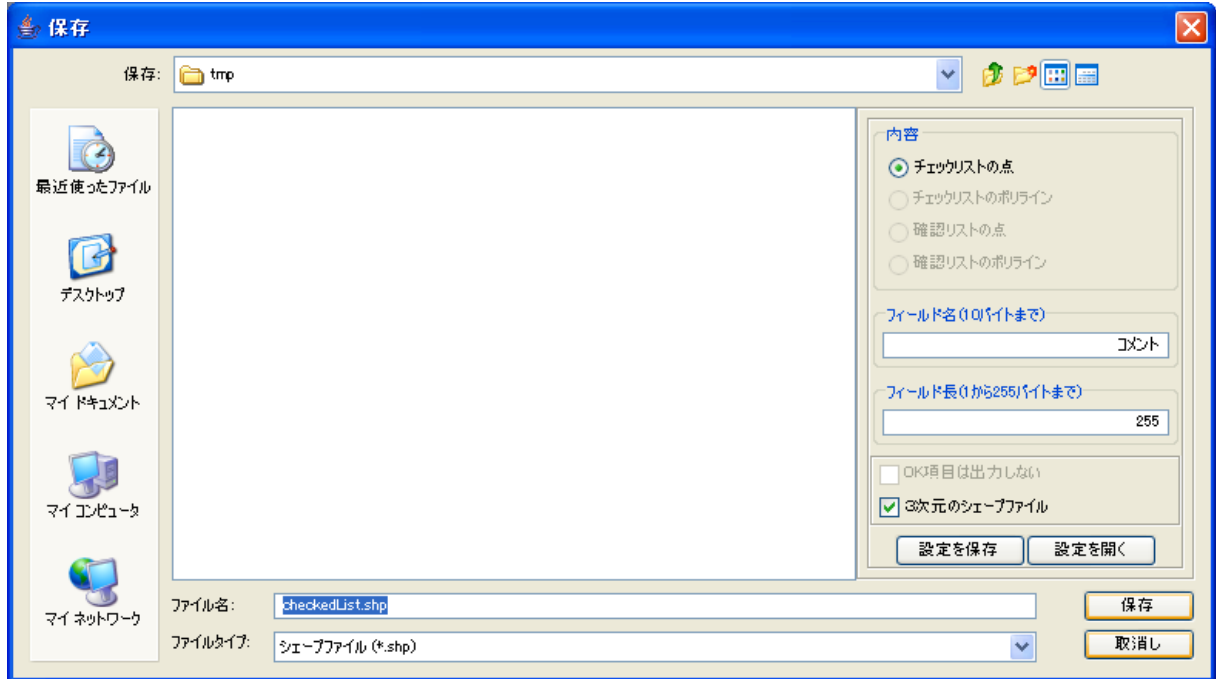
<http://www.geocoach.co.jp/download/GeoCoach3D-series-8-exif.pdf>

3. チェックリスト保存(SHP)

メニュー「ファイル」・「チェックリスト保存」・「チェックリスト保存(SHP)」を追加しました。

「チェックリスト保存(SHP)」

「チェックリスト1」「確認リスト」に表示している文字列と座標をシェープファイルに保存します。



内容

「チェックリスト 1」「確認リスト」に表示している情報のどちらを出力するかを指定します。

フィールド名

「チェックリスト」「確認リスト」に表示している文字列を記録するフィールド名を指定します。シェープファイルに記録できるフィールド名は 10 バイトまでですので、全角の場合は 5 文字までになります。

フィールド長

フィールド名で指定したフィールドのバイト数を指定します。シェープファイルのフィールドに記録できるバイト数は 1 から 255 の間です。

3次元のシェープファイル

ON の場合、3 次元のシェープファイルを出力します。OFF の場合、2 次元のシェープファイルを出力します。